

小規模多機能型居宅介護フィオーレ貝塚

グループホームフィオーレ貝塚

運営推進会議 議事録

令和 7 年 5 月 21 日（水）

14 時～15 時

小規模多機能型居宅介護フィオーレ貝塚 2 階

司会 大柳（小規模多機能型居宅介護フィオーレ貝塚）

鹿野英一(GH まこと管理者)

書記 工藤 未紗喜(GH まこと管理者)

参加者

- ・ 室田 享子様(釧路短期大学様)
- ・ 工藤 陽介様(東部北包括支援センター様)

1 挨拶

2 運営推進介護とは、

地域密着型サービス事業所に設置・開催が義務付けられ、利用者、利用者家族、地域住民の代表者、市町村職員または地域包括支援センター職員等で構成され、事業所ごとに自ら設置するものです。この会議において、事業所が行っているサービス内容等を報告し、地域に開かれたサービスをすることで、事業運営の透明性の確保やサービスの質の向上、地域との連携及び交流の確保等を努めることを目的としています。

3 事業運営報告

- ・ 3 月・4 月のサービス利用状況 （小規模・グループホーム）
- ・ フィオーレ貝塚でのサービス内容、行事等 （小規模・グループホーム）
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 3 月・4 月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センターからの声

4 質疑応答（意見交流）

- ・ 小規模多機能型 フィオーレ貝塚 より

5 その他

- ・ 小規模多機能、グループホームより
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ 今後の活動等

(2) 事業運営報告

■3～4月の介護度別サービス利用状況

(3月31日・4月30日付)

要介護	3月 小規模	4月 小規模	3月 グループホーム	4月 グループホーム
要支援1	1名	2名		
要支援2	0名	0名	0名	0名
要介護1	5名	6名	1名	2名
要介護2	12名	11名	7名	6名
要介護3	3名	3名	3名	3名
要介護4	3名	2名	2名	2名
要介護5	1名	1名	3名	3名
計	24名	25名	16名	16名

大柳「3月は利用登録人数は24名となっています。3月24日に新規の方が一人利用開始になっているので、24名と言う形になっています。4月については入退去が多くて、4月8日一人解約、その後11日解約ありましたが、その方体調が安定したので利用再開ということで一回利用解約破棄しております。4月27日にアシストに一人、28日にアシストに一人入ったので、結局出たり入ったりということで25名となっています。」

鹿野「ありがとうございます。グループホームは3月が18名いらっしゃったんですけど、3月末に2名の方が退去しております。1名の方は薬調整の為、精神科に入院になったんですけど、2、3ヵ月かかるということで、退去となっております。もう1名の方は子供さんのお宅で在宅生活に戻るといのか、施設に来て1年経っていたんですが、週に1回帰宅されていたんですが、職員の言葉に拒絶反応みたいなことがありまして、ここには来たくないという事で、外出されたまま1ヵ月が経ちまして、結局戻れないという事で退去となっております。この方、拒絶反応がすごいといのか、一度嫌になったらだめっていう感じで。以前、デイサービスにいたんですけど、利用者さんが苦手になって、デイサービスを変えたことがある方で、普段は穏やかな方なんですけど、拒絶が始まったら治まらず、戻って来られなくなりました。4月はそのまま継続で16名のままとなっています。5月17日に1名入居されまして、26日にもう1名入居される予定です。」

■ 小規模フィオーレ貝塚でのサービス内容・行事等

- ・ 3 月 3 日(月) ひな祭り(ひなあられ、かりんとう)
- ・ 3 月 3 日(月)～17 日(月) 桃の節句工作
- ・ 3 月 19 日(水) おやつ作り(ぼたもち作り)
- ・ 3 月 30 日(日) お花作り
- ・ 4 月 4 日(金) あんぱん玉入れゲーム
- ・ 4 月 7 日(月) 鯉のぼり制作
- ・ 4 月 13 日(日) 訪問美容
- ・ 4 月 16 日(水) 赤旗・白旗作り
- ・ 4 月 19 日(土) 運動会向けての制作
- ・ 4 月 22 日(火) 運動会
- ・ 4 月 27 日(日) ドライブ(別保公園)
- ・ 4 月 28 日(月) 小規模多機能の体験利用者 1 名

大柳「4 月 28 日に小規模多機能の方で体験利用の方が一人いたので、その方も来てレクをしたりして、対応して、この方利用に繋げる事ができたので、体験利用も、よかったらお願いします。」

■ グループホームまことでのサービス内容・行事など

- ・ 3 月 3 日(月) ひな祭り 昼食 ちらし寿司 菜の花の辛子和え
お吸い物
おやつ 甘酒 ひなあられ
- ・ 3 月 10 日(月) リビング装飾作り 桜(2 階)
- ・ 3 月 14 日(金) リビング装飾作り 桜(1 階)
- ・ 3 月 15 日(土) 誕生日会 ホットケーキ作り
- ・ 3 月 18 日(火) 避難訓練(自主訓練)
- ・ 3 月 19 日(水) 開設記念日 歌 スライドショー
昼食 寿司 オードブル
- ・ 3 月 20 日(木) ぼたもち作り
- ・ 3 月 26 日(水) クレープ作り
- ・ 4 月 7 日(月) 昼食 お好み焼き作り
- ・ 4 月 17 日(木) 誕生日会 どら焼き作り
- ・ 4 月 18 日(金) 運動会 玉入れ 輪回し けん玉
- ・ 4 月 25 日(金) ドーナツ作り

■利用者ご家族からの声

小規模

- * 今回入院することになって、長いことお世話になりました。私たちもそんなに病気が進行していると思わなくて、余命宣告までされて…。体が辛かったのはそのせいだったんですかね、気づいてあげられなくて申し訳ないです。(I 様 ご家族より)

大柳「この方、通いの方だったんですけど、4月の頭に肝臓がんが見つかって、急遽入院となりました。一回解約したんですけど、状態が落ち着いたので、一回家に帰ったらどう？と先生に言われて、また再開という形になった方です。今まで痛いとか苦しいとか言わなかったんですけど、今回、お腹が痛いって言われて、病院に行ったらわかった。その時にはもう病気が進んでいてどうすることも出来なくて。と言う話がありました。」

- * 今まで一人で暮らしていましたが、ごはん作るのも何するのも疲れちゃって。本人が、3食出てきて、風呂にも入れて、寝れるところなら、施設に入るって言っていて。小規模にお願いしました私たちも、毎日様子を見に行っていました。ここに入れてもらえ良かったです、本人も喜んでいるみたいです。

(N 様 ご家族様より)

大柳「この方も4月22日にアシストに入居された方だったんですけど、今まで自分でやっていたんですけど、鍋焦がしたり危ない所が出てきたので、家族も本人も不安だという事で話がありました。本人から施設に入りたいと言っていたので、入居となりました。ここにきて2週間してから体調崩れてしまって、入院されてそのまま亡くなってしまったんです。本人はここに帰ってきたいと言っていたんですけど、戻れずというかたちで、短い期間の利用だったんですけど、その方のご家族様の声でした。」

グループホーム

鹿野「1月に書面開催した時の返信のお葉書から出させて頂きました。」

- * 1ヵ月の行事が多くて、びっくりしました。入居者のお世話もし、皆様のご苦勞感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。(K 様 ご家族より)
- * 大変お世話になっています。先の事は不安なことが多々あると思いますので、相談の程、宜しくお願い致します。(H 様 ご家族より)

鹿野「この方、介護5で全介助の方で、まだ本人は元気な方なんですけど、ご家族が看取りを考えていて、看取りにするか、病院にするか色々ご相談をさせて頂いています。」

* いつもお世話になっております。日々、職員の皆様が利用者さんに献身的な介護をしてくださっている事に心より感謝申し上げます。今後も色々とお迷惑おかけすると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。
(H 様 ご家族より)

* 大変お世話になっております。お忙しい中、手を止めて普段の行動や状況を教えていただきありがたく感謝いたします。体操の時間「1.2.3.2 の 4 の 5」と口は動いているのですが、手は止まっています。今の母だと思いました。寝ている事が多く、会話も出来ず帰ってきます。介護度が上がると思いますが職員の方々にはお手数が増える一方ですがどうぞ宜しくお願い致します。
(T 様 ご家族より)

鹿野「この方は要介護度変更かけて 3 月から 5 になった方で、その前からほぼ全介助なんですけど。ご家族の方があまりいらっしゃらなくて、介護度が高くなってから少しずつ面会に来て、部屋で会話などして見て下さってくれるようになりました。」

* いつも大変お世話になっております。書面にあるような行事だけではなく、日ごろ、体操やゲームなど楽しそうにしている姿を見るたびにスタッフの皆様へ感謝で胸がいっぱいになります。こだわりの強い母ですが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
(S 様 ご家族より)

鹿野「この方はよく面会に来られている方で、外食などに連れてって
くれている方です。様子を見て頂いています。」

■3 月 4 月の事故報告について

	小規模 3 月	小規模 4 月	G H 3 月	G H 4 月
アクシデント	0 件	0 件	0 件	0 件
インシデント	1 件	0 件	5 件	5 件
ヒヤリハット	1 件	0 件	1 件	1 件

グループホーム フィオーレ貝塚

3 月 インシデント 転倒 2 件 薬セットミス 2 件

ヒヤリハット 利用者自身によるベッドリモコン操作

4 月 インシデント 車椅子からの落下 1 件 薬セット水 1 件

薬落下 1 件 軽いやけど 1 件 転倒 1 件

ヒヤリハット 点眼薬時間間違い 1 件

大柳「3月はインシデント1件、ヒヤリハット1件となっています。インシデントの内容は洗面台で手を洗っていた時に熱いお湯が出てきて手にかかってしまったという内容でした。直前に使っていた方がお湯を使っていて、そのまま蛇口の向きだけ変えて、たぶん配管にお湯が残っていて、次使った方が手が赤くなってしまったということで、冷やして対応はしていました。今後は、必ずお湯を使っていたら水の方にして、水が出るまで確認してから離れるというのを統一しております。ヒヤリハットに関しては2階での入浴後に脱衣場に敷いていたマットで滑って尻餅をついたという内容になっております。対応として、マットの下に滑り止めを敷くというかたちで対応をしております。4月は0件になっております。」

鹿野「グループホームです。3月ですけど、インシデント4件。転倒が2件、薬セットミスが2件です。転倒は同じ方で薬調整でリスパダールという薬を服用して、立ちあがりですぐに転倒してしまったというのが2件続けてありました。ヒヤリハット1件で、利用者自身でベッドのリモコンを操作。この方低床ベッドを使われていて、睡眠時に体動が多く、180°回転したりとか、降りようとしたりとか。リモコンをベッド柵に掛けてあったんですけど、それも自分で操作しようとして、落ちかけていたということがあって、ヒヤリハットで出させて頂いています。ベッドの離れた床の方に置いています。5月はインシデント5件、ヒヤリハット1件です。インシデントは車椅子からの落下が1件です。これは職員のミスです。利用者が不安定だったのにも関わらず、車椅子を引いたら、勢いで前に転がってしまったのが1件です。あとは薬セット間違い、薬落下1件。これは普段、他の方は職員が介助をするんですけど、その方だけ錠剤8錠ありまして、カップを拒否されるので自分の手から摘まんで飲むのですが、その時に落下した事故です。軽いやけどが1件。朝食前に飲み物を提供をするんですけど、温度調整して提供して、本人、半分寝ぼけていてこぼしてしまって、ズボンにかかってしまい「熱い」と言われて、一応軽いやけどであげています。あと、転倒1件です。ヒヤリハットで点眼薬時間間違いで1件です。これは、以前の点眼薬が本人が合わなくて、一日三回で夕食の時にやったら目が痛いと言って、就寝時にしてほしいと希望がありまして、点眼していたのですが、夕食時に薬セットしてあり、その時にしてしまったということで、時間的には間違いはないんですけど、ヒヤリハットで出しています。その後、眼科受診して頂いて新しく薬が処方されています。」

■ 地域包括支援センター様からの声

- ・いつも日々の業務お疲れ様です。誤薬服薬の原因を全員で共有して、複数の目(職員)で確認し、再発防止に努めていただきたいと思います。(声明に関わる重大な事故の為)

鹿野「以前、運営推進会議の時に来て頂いた方からです。その時、薬のアクシデントが 2 件から 3 件ありまして、それでご指導して頂きました。」

工藤様「お話を頂いた通りかなと」

鹿野「室田さんの方から何かありますか？」

室田様「結局、インシデントの中に誤薬ないので、3 月の時から皆さん、緊張してやられているのかなと。気を使ってやられているのかなと。」

鹿野「慣れじゃないないんですけど、流れ作業になってて、マニュアル通りになっていないので、一旦引き締めてやっていました。」

4 質疑応答（意見交流）

大柳「管理者が今年の 1 月から高田に替わったんですけど、6 月から管理者が変更なりまして、今までグループホームの管理者をしていた石黒浩二が小規模の管理者になりますので。今回、会議の方には参加できなかったんですけど、次回から石黒が出るとお思いますので、ご報告させて頂ければと思いました。あと、小規模とアシストが空いているのももしよかったらご紹介頂きたいのと、職員とか。新しい職員が入っては来るんですけど、先程薬のアクシデント報告が上がっていたので、職員の入れ替わりもあるので事故とか気を付けていながら、指導していきながら対応をしていこうと思っています。」

鹿野「グループホームも職員が、一気に 3 人辞めてしまって。ようやく回している感じですよ。お聞きしたい点がありまして、運営推進会議について、参加者とか進め方とか変えていきたいなと思っていて。紙面で読んで、報告だけではなくて、地域密着なのでどう展開していったらいいのかなというご意見を他の施設ではどうやっているのかなとか、コロナ以降閉塞的になってしまって。そこを元に戻す作業が必要なんですけど、どうなふうに展開していったらいいのかお聞きしたくて。」

室田様「あちらのやよいさんの運営推進会議にも参加させて頂いているんですけど、短大の前任の方から引き継いで、けど名前ばかりで参加させて頂いていました。コロナもあって書面でのやり取りだけで。あちらも書類を用意してレジュメ添って報告があって。あそこはコロナの前は地域の人が自由に行き来して、リハビリをして帰るという事をやっていましたよね。コロナがあって、やらなくなって。その時はこのメンバーの中に町内会長さんも入っていて、避難訓練とか、町内会の行事になかなか参加できないけど、こんなことをやっているという情報交換をしておりましたね。避難訓練も一緒に参加できればいいんだけどと話はあるんですが、なかなか実践には繋がらなくて。あとは、利用者さんも一緒に参加されておりましたね、この会議に。利用者の家族かな、感想とは意見とか、利用者さんは無理かな、一緒に座っておりましたね。」

鹿野「いつも 2 名くらい家族の方が来るんですけど、決まった方で。前には夜に時間を変えて、仕事の都合とかもあるので。結局、来なくて。前は、夏祭りとかがあつて、近所の人にあいさつをして来て頂いていたんですけど、それもなくな

ってしまっただけ。前回、先週土曜日にイベントがありまして、キッチンカーが来て。その時は近所の方にご連絡行っていたと思うんですけど、お天気とか悪くて。また、こっちの方でもやる予定なのでその時はご挨拶をさせて頂こうかなと思っています。日常の見学なり、外部評価の指導でも頂いたんですけど、地域をもっと巻き込んだ方が良くないと話を頂いたの。ありがとうございます。工藤様から何かありますか？」

工藤様「今の話で、私も他の運営推進会議は出ているんですけど、まだこういうところにまわるようになってから日が浅いので、そんなにまわっているわけじゃないんですけど、メンバーは固定されているかなと、流れも同じだし。こことしては、町内会さんとか民生委員さんとかそういうところになってくるのかなと。例えば、ここだったら資源としては学校があったりだとか、近い所でいったらふれあいセンターですかね。あそこかが3月か4月に社会福祉協会さんとの協力もあって『ほがらか食堂』をやったんです。カレーを提供して、話が決まって1週間後にはやって。急遽だったの。人は集まらなかったんですけど、そういう活動もやって、そういう所で繋がって地域と繋がっていきけるのかなとは思いますが。地域と繋がってどうするかですね。」

鹿野「そういうのがあれば行って、ご馳走になって。」

工藤様「そうですね。またやりたいっていう声も上がっているんで、うちのセンターとしても早めに声を掛けてくれれば周知とかするよって言うので。その輪の中に入って、一緒に食べに行くとか。より地域に溶け込んでいくとしたらちょっと手伝うみたいなことが出来たら、より地域の人に理解をしてもらえうようになるのかなと。」

鹿野「あと、喫茶みたいのをやるんですけど利用者だけなので地域の方とか、家族とか巻き込んでやりたいなと思うんですけど、なかなか準備とか大変で。」

室田様「そうですね、スタッフさんがやらないといけないですもんね。」

鹿野「そうですね。」

工藤様「喫茶でいうと孝仁会の小規模特養の湿原の里さんがだいぶ前にやったことがあったかなと思うんですが。やるってなったら案内して来れる人に来てもらって、興味のあるご家族様は来てもらえるかもしれないっていうところですね。巻き込むっていったらやっぱり町内会ですかね。案内を渡して、回覧でまわしてもらおうとかっていう感じになっていくのかなと思うので、やっぱりここに町内会長さんとか来てくれれば、こういう話もなって、一緒にやりましょという話になっていくと思うので、ここに呼べたら良いのかな。」

鹿野「前は出てたよね？」

大柳「そうですね。コロナになってから町内会の行事にも参加できなくなってしまっただけ。」

室田様「やよいの方の会議にも町内会長さんがいらしていますけど、会員が減っているのと、高齢化になっているので思うようにできないと話していました。」

工藤様「逆に言えばそれがチャンスで、他の施設さんはやっていない中で、ここはやっているというところで持っていけばいいんだけど。言うのは簡単なんですけど、やるのは難しいので、頑張り過ぎても。」

鹿野「一回やって大変だったからやめてしまうのもね。」

工藤様「包括は色んな所で案内はできるんですけど、なかなか難しいですよ。ある活動に乗っかっていく方が簡単ですよ。やっているから行ってみようって言って、施設の紹介が出来たらいいんですけど。パンフレット渡すとか。パンフレットとか会社が変わってから新しくなったんですか？」

鹿野「作成中なんです。」

工藤様「じゃあそこからですね。」

室田様「他の地域のこともリサーチしなきゃいけないですね、どんなことやっているか。お達者サークルでしたっけ？」

工藤様「それはサンライフさんですね。ちょっと遠いですかね。」

鹿野「どこ行くのも車なので。」

室田様「利用者さんはエリアは全部釧路ですか？」

鹿野「釧路市内ですね。」

工藤様「通いでって言ったら範囲は決まっていますよね。」

鹿野「少しずつできればと思います。ありがとうございます。」

工藤様「パンフレットお待ちしております。」

鹿野「ありがとうございました。」

5 アシストリビングホームフィオーレ貝塚の報告（r 7.4 末）

・入居者の状況

8名/10室

・サービス提供の状況

外部サービスとの連携（小規模多機能型居宅介護フィオーレ貝塚）8件

重要事項説明書参照。（ホームページにて）

・費用など

月額費用の内訳（家賃 43,000 円・管理費 11,000 円・食費 46,500・生活支援費、要介護度の 1 割相当）

5 その他

・今後の活動について

（小規模多機能）	（グループホーム）
5 月 ・端午の節句 ・母の日	5 月 ・お花見 ・ガーデニング

・出張出前にぎり寿司 6 月 ・フィオーレ貝塚縁日 ・昼食作り	6 月 ・喫茶 ・調理レク ・ドライブ ・ボランティア 日本舞踊
--	---

次回開催予定日 令和 7 年 7 月 16 日（水）14 時

小規模フィオーレ貝塚 2 階リビングにて開催